

## 令和5年度 白鷺教育会評議員会開催

白鷺教育会会則第9条に基づき令和5年度 白鷺教育会評議員会を開催しました。

- ◇ 日時 令和5年5月  
20日(土)
- ◇ 場所 姫路教育会館



### ◇進藤正洋会長挨拶

評議員会は白鷺教育会の重要な議決機関である。今、会員減が会として「運営経費の削減と運用のあり方」が問われている。所謂収支のバランスの確保を図りながら活動の工夫が必要である。諮問委員会を構成し、中長期的な視点で会則改正も視野に入れながら会の目的である教育文化の創造を図りたい。

◇議長選出 昨年度より評議員会の議長は、支部の輪番制となり令和5年度は、加古川支部評議員の大森敏昭氏(S.49)に議長を務めていただいた。

令和5年度 評議員総数 33名

出席評議員 19名 欠席評議員 14名 内委任状提出13名

よって、本評議員会は成立

- ◇第1号議案 令和4年度事業報告並びに会計決算報告：黒瀬泰弘副会長  
令和4年度会計監査報告：金井貞文監事  
尚、「令和4年度会計監査を終えて」と題して令和4年度の監事より以下の報告がなされている。〈次ページに掲載〉

〈1号議案 賛成多数で承認される〉

- ◇令和5年度役員等について進藤正洋会長より報告

- ◇第2号議案 令和5年度事業計画(案)並びに会計予算(案)提案  
黒瀬康弘副会長より提案説明

〈2号議案 賛成多数で承認される〉

- ◇議長解任

※ 次年度の議長は姫路支部が担当

## 令和4年度会計監査を終えて

(監査委員より)

- ① 収入が年々目減りしている。かつ、会員収入の増額は望めない。
- ② 特別会計での積立金も繰り出しが増え、残金が乏しくなっている。
- ③ 年々予算編成、また支出の工夫は認められるが、限界に近い。

### ① について

白鷺教育会の資金源は会費徴収のみである。10年以上も前から会費納入率を上げる工夫がされ、それなりの効果はあったが、この数年は90%前後で推移している。また、会員数も10年で450人余り減少し、金額にすると100万円近い減少である。

### ② について

基本収入が減少している以上、積立金に頼らざるを得ず、積立金も減少している。近年は120周年の寄付金の余剰があったので、一息ついた感はあるが、このままでは数年で積立金はなくなるであろう。

### ③ について

特に近年、執行部及び事務局の支出削減努力で工夫の跡は顕著である。(旅費削減、弁当廃止、会議減、幹事会活動費廃止、支部助成金見直し、事務局手当見直し等)しかし、ここまでしても、収入減及び積立金の目減りの解決には追いついていない。

### 「監査から一言」

一番の解決法は会費を値上げすることであろう。しかし、これは必ず会員数の減少を伴う。つまり、更なる収入減となる。

活動の減少・削減する方法もある。しかし、単純な減少・削減は白鷺教育会の存立そのものを否定することとなる。

今、活動や体制の見直し案が浮上している。多分、会員諸氏も異常事態に気づかれているであろう。この改革を期待している。

令和5年3月24日